

# 千村 収一

## アニーとクリ パステル画展

～2匹の障害犬との日々に**夢**を託す～



春の野花に囲まれて

令和8年4月25日(土)～5月6日(水・祝) 10:00～16:30 ※月曜休館4/27,5/4

場所:小牧市公民館 講堂・ギャラリー(小牧市小牧二丁目107番地)

料金:入場無料



一般財団法人

こまき市民文化財団

TEL.0568-71-9700

共催:小牧市・小牧市教育委員会

# 動物のパステル画チャリティー原画展

白衣をまとい、犬の名医さん100人にも選ばれた動物たちの命と向き合う獣医師でありながら、今は亡き2匹の愛犬の優しい面影を描き続ける千村収一さん。その心温まる世界観をぜひご覧ください。小牧市で初開催です。

生まれつきの病気をもっていて一般家庭で飼えなかったため病院でひきとったゴールデン・レトリバーの『アニー』とシーズーの『クリ』の2匹をモデルに2000年ごろから絵を描きだしこれまでに250点を制作。獣医師会やギャラリーでの展示、グッズ販売を通じ、義援金活動を続けています。12カ月の風景や歳時を描いたカレンダーを20数年、絶やすことなく制作し続けています。

今回の展示では、アニーとクリを描き始めた初期の作品から最新作まで一挙に紹介します。



動物のお医者さん

## アニーとクリの話

アニーとクリがやってきたのは20数年前。ゴールデン・レトリバーのアニーは、先天性尿道奇形で尿漏れの障害があり、常にオムツが手放せない状態。小型犬シーズーのクリは、先天性の心臓病を患っていて、どちらも一般家庭では飼育が難しい状況でした。

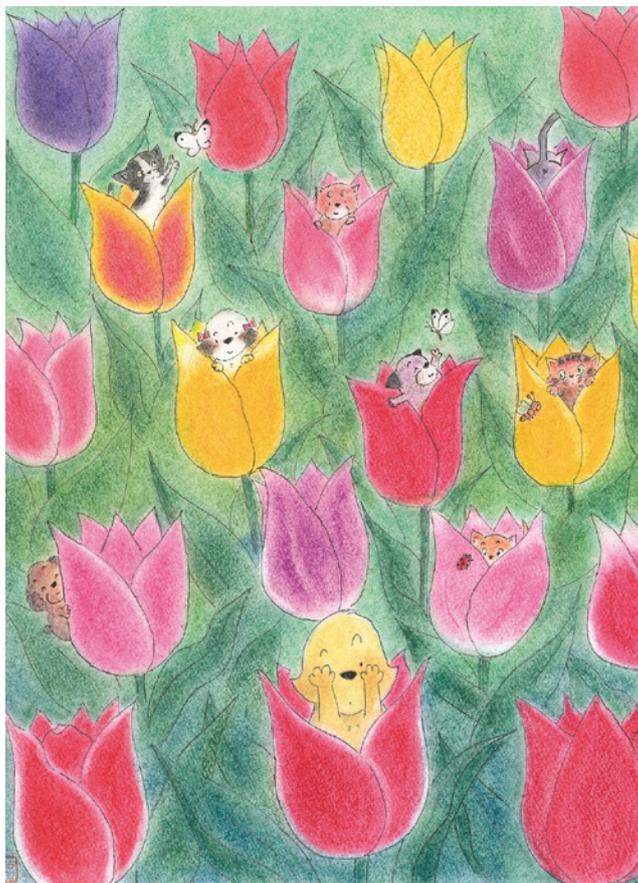
千村家に迎えてからは五条川沿いの散歩が日課に。音や色、香りや風など四季折々の自然を2匹と満喫しました。

移ろいゆく美しい情景の中にとたずみ、優しい空気で包んでくれる2匹と過ごす時間をお楽しみください。

## 作家からのメッセージ

アニーとクリの作品を常設展示できるギャラリーと、保護動物施設を併設した場所をつくるのが夢です。そこで多くの人に作品を見ていただき、保護動物と触れ合い、動物たちを愛してくださる里親の方へと縁をつなげるような、そんな施設をつくりたいと考えています。

日常の中に癒しを与えてくれる動物たちの命の輝きや、動物と暮らすことの魅力を絵に込めて。動物と共存することの素晴らしさを、一人でも多くの方に感じていただけたらうれしいです。



チューリップでかくれんぼ



メリーとテツとともに

## 千村収一

1953年愛知県岩倉市生まれ  
滝高等学校、帯広畜産大学獣医学科卒業  
1979年岩倉市に千村どうぶつ病院開院  
専門分野は犬猫の心臓病  
日本獣医循環器認定医、同学会名誉会員  
元帯広畜産大学非常勤講師  
趣味：バドミントン



一般財団法人  
こまき市民文化財団



公式HP

※ギャラリーでは、リトグラフ、絵葉書、一筆箋などの販売をおこないます。

売上や募金などについては野良猫去勢避妊事業基金へ積み立てるための寄付金として小牧市へ寄付されます